

くみあい くみあいちよう
河北いちご組合 組合長

つかわ
角川 なおみ さん



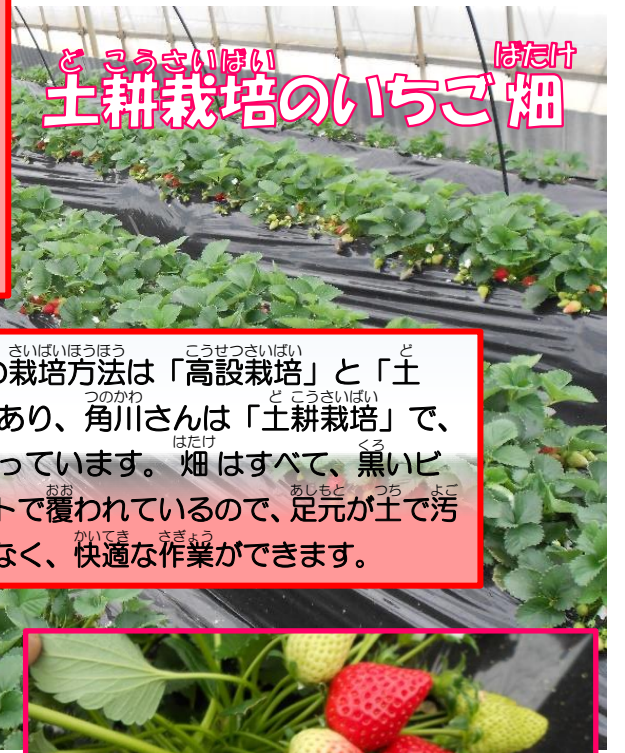
かほくちよう とくさん ところ つく はじ
河北町の特産いちご「おとめ心」を作り始めて
26年くらいになります。去年の10月に苗を植えて
3月下旬からから6月上旬くらいまで、「おとめ
心」が楽しめます。朝取りのおいしい「おとめ心」
は、早朝4時から収穫をしています。

「おとめ心」は味はもちろんのこと、実の形や色つ
やが良く、何よりいちごの甘い香りが強いのが魅力
です。「おとめ心」があると、隠していても部屋中に
甘い香りが広がるので、すぐわかってしまいます。

みなさんがいちごを食べて喜んだり、しあわせな
気持ちになってくれることが、私のがんばるエネ
ルギーになります☆彡 いちごで楽しいひとときを過
ごしてくれたら、とてもうれしいです♡(^o^)

河北町の「おとめ心」でHAPPYになりましょう！

とこうさいばい ぼたけ
土耕栽培のいちご畑



いちごの栽培方法は「高設栽培」と「土
耕栽培」があり、角川さんは「土耕栽培」で、
いちごを作っています。畑はすべて、黒いビ
ニールシートで覆われているので、足元が土で汚
れることがなく、快適な作業ができます。



ひとつの苗からたくさんの
いちごができるので、いちご
の実がしっかり育つように、
手作業で枯れた葉をこまめに
取り除いたりします。



受粉の仕事をするみつばちにとって、活発に活動できる気温は20度以上です。みつばちが一番見つけやすい色の「青いシート」にくるまれた「巣ぼこ」には、およそ6,000匹ほどいます！みつばちたちががんばって受粉の仕事をしてくれることも、形のよい、美味しいいちごがでかあがる大事なポイントです。



つのかわ 角川

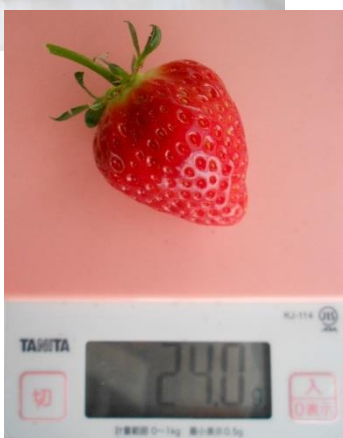
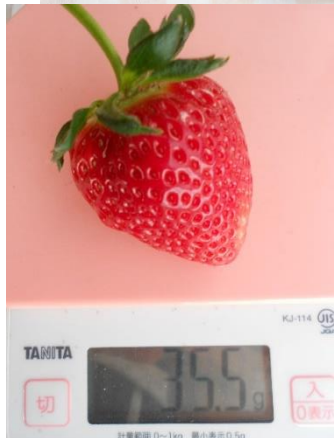
えがお すてき チャーミング かた 角川さんは笑顔が素敵でcharmingな方です



なか あま かお ビニールハウスの中は、いちごの甘い香りに つつまれて、とても感動しました♡



みず 水やりは、まいにち あさ 毎朝のいちごの葉っぱの状態をみて判断します。上の写真の緑のcockをひねると、水まきができます。



うえ からみると 葉っぱにかくれています、大きくて美味しそうないちごがたくさん！角川さんから取ってもらいその重さをはかってみると、大きいものは35、5グラムもありました。(写真左) 中くらいのものは、24グラムありました。(写真右) 食べる時は、口に入れて噛んだ時の香りを楽しみながら、あじわって食べてみてください☆☆☆☆